



2026年8月7日

各位

会社名 大伸化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀越 進
(コード:4629 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画室長 野尻 健一郎
(TEL 03-3432-5872)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年8月7日開催の取締役会において、2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期第2四半期（中間期）及び2027年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 18,260	百万円 740	百万円 760	百万円 430	円 銭 93.99
今回修正予想（B）	20,690	1,400	1,440	890	194.53
増減額（B－A）	2,430	660	680	460	—
増減率（％）	13.3	89.2	89.5	107.0	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	16,952	630	670	451	98.68

(2) 2027年3月期通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 36,040	百万円 1,300	百万円 1,350	百万円 810	円 銭 177.04
今回修正予想（B）	38,470	1,960	2,030	1,280	279.77
増減額（B－A）	2,430	660	680	470	—
増減率（％）	6.7	50.8	50.4	58.0	—
（ご参考）前期通期実績 （2026年3月期）	34,606	1,170	1,236	889	194.39

2. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、中東情勢の緊迫化に伴う原油・ナフサ価格の高騰や円安の影響を受けましたが、有機溶剤専業メーカーとして新規ユーザーの開拓を行うとともに、原材料の需給が逼迫するなかでも確実な調達を行い製品の安定供給の維持に努めてまいりました。

その結果、売上高につきましては、出荷数量が前年並みとなったものの、販売単価の上昇が寄与したことにより想定を上回りました。利益面におきましても、新規需要の開拓に加えて在庫受払差が増益要因となりました。足元の堅調な推移及び第1四半期の実績を踏まえ、売上高・各段階利益ともに前回発表予想を上回る見通しとなったため、2027年3月期第2四半期（中間期）及び通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

以上